

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年 5月27日更新

事務事業名		合志市発展研究会運営事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	政策部
	施策	25	行政改革の推進		所属課	企画課
	基本事業	82	職員の人材育成		所属班	政策企画班
予算科目	会計一般	款	項	目	事業連番	法令根拠
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 24年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 24年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 24 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	自治基本条例の理念に基づき、「誠実で迅速な対応」「まちづくり課題解決のための能力向上」「安定した財政運営」「意見等に対する総合的な検討と結果の説明」「市の目指すべき方向性等の提示」について、若手職員の自由で率直な意見を市の施策に反映させるとともに、人材育成と立案能力の向上を図る。
【業務の流れ】	設置規程の内容検討 ⇒ 施行 ⇒ 庁内説明、周知 ⇒ 委員の募集 ⇒ 実施計画等の策定 ⇒ 会議の開催 ⇒ 課題の提起、諮問 ⇒ 意見交換 ⇒ 施策への反映
【主な予算費目】	予算計上なし
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特になし

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分: 新規
① 手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)	25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・ 庁内への事業内容説明、趣旨や目的等の周知 ・ 委員の募集	・ 委員会の発会 ・ 実施計画等の策定
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 委員数 イ: 会議の回数	・ 予算計上なし
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
事務事業 若手職員	→ ア: 改善意見 件 イ: 参画した若手職員 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
効果的で効率的に実施できている	→ ア: 効果的で、効率的に実施できていると思う職員の割合 % イ:
* ③ 成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠	
この事業を始めるきっかけは、若手職員の新鮮で柔軟な考えと豊かな創造力の活用と、まちづくりの課題解決、ひいては立案能力の向上等を図ろうとするものであるため、事業が効果的で効率的に実施できていると思う職員の割合を増やすことが重要であると考えた。現時点の数値は一気に増加するとは考えられず、毎年2%ずつ増えるよう目標を設定した。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込
① 活動指標	ア	人			0	0	10	10	15	15
	イ	回			0	0	12	12	12	12
② 対象指標	ア	件			0	0	5	5	5	5
	イ	人			0	0	20	20	25	25
③ 成果指標	ア	%			38	0	40	42	44	46
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円								
	(A) 事業費計	千円			0	0	0	0	0	0
(A)のうち指定経費	千円			0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人			0	0	23	23	28	28
	延べ業務時間	時間			0	0	200	200	230	230
	(B) 人件費計	千円			0	0	807	807	928	928
トータルコスト(A)+(B)		千円			0	0	807	807	928	928

事務事業名	合志市発展研究会運営事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	--------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 研究会の委員は、①主事・主査級の公募職員、②市長が指名する職員となっているので、年度の早い時期に委員を任命し研究会を立ち上げ、実施計画等を策定し実行する。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 実質的な事業開始は平成25年度からなのでまだ成果は出ていない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 若手職員に自由で率直な意見を市の政策に反映させる機会を与え、同時に人材育成と立案能力の向上を図れる事業は他にない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の会議開催とするので、削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 若手職員の人材育成を目的とし、全庁に公募しているので公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 合志市の将来を担う若手職員の育成は行政の役割である。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成24年度で合志市発展研究会設置規程を施行し、庁内に周知し、公募委員の第1回目の募集を行ったが、応募者はなかった。
平成25年度は、公募委員の第2回目の募集と市長指名により委員を任命し、研究会を立ち上げ合志市の発展等に繋がる施策の研究と検討を行う。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

<p>(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/>現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策</p>																						